



米俵を描く節二

和高節二没後三十年記念

「和高節二の作品と人生」

【出品目録】

明治31(1898)年、長田村に生まれた節二は向原尋常高等小学校高等科二年を卒業後、画家への道を夢見ます。しかし節二を僧侶にしたいと望む母親から強く反対され、燻ぶり続けていました。20歳の時に母を腸チフスで亡くすと翌年家出して上京。しかし家出は1カ月で終わり帰郷して結婚します。以後度々上京を繰り返しますが、郷土を拠点として農業と芸術活動を続けました。帝展に初入選した際には31歳になっていましたが、以後着実に入選を続けます。

昭和15(1940)年、紀元二千六百年奉祝日本画大覧覧会で「牡牛」が最高賞を受賞します。一躍時の人となりますが、郷土に根差した人生はその後も変わりませんでした。平成2(1990)年、明治から平成を生き抜き92歳で亡くなりました。

この企画展では、当館所蔵の資料を中心に、和高節二の人生を紹介します。

和高節二略歴 (1898~1990)

- 1898(明治31) 広島県高田郡長田村(安芸高田市向原町長田)に生まれる
- 1913(大正2) 向原尋常高等小学校高等科2年卒業
- 1919(大正8) 10月、家出し上京。川端画学校と日本美術学院に入学する
11月、家出から1カ月で帰郷し、ナイと結婚する
- 1922(大正11) 坂村上通りに画室「ドガ堂」を開き芸術活動を行う
- 1929(昭和4) 第10回帝展で「早乙女」が初入選
- 1940(昭和15) 紀元二千六百年奉祝日本画大覧覧会で「牡牛」が最高賞を受賞する
- 1957(昭和32) 回顧展を開催(広島・天満屋)
- 1968(昭和43) 「丹頂会」を結成
- 1986(昭和61) 向原町名誉町民に推挙される
- 1990(平成2) 逝去

◆紀元二千六百年奉祝日本画大展覽会

昭和 15(1940)年、和高節二は紀元二千六百年奉祝日本画大展覽会において最高賞である文部大臣奨励賞を獲得。副賞として1万円を授与され、中央画壇における栄光に輝きました。



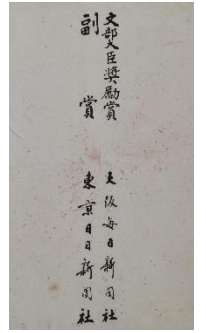
1.ポスター



2.図録



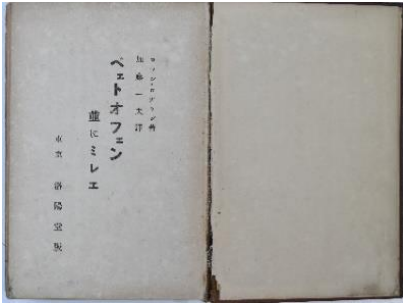
3.賞状



4.副賞

◆和高節二の人生

節二に関する資料を通して、その人生を振り返ります。



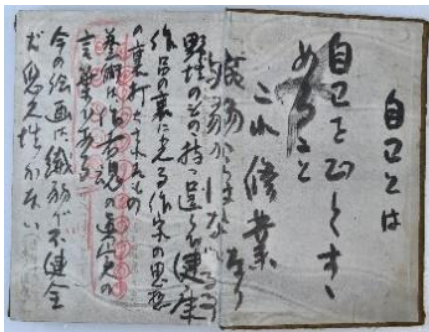
5.『ベトオフェン並にミレエ』



6.日本美術学院 会員票



7.スケッチブック



8.日記



9.画材



14.昭和 36 年丑年関連はがき



15.昭和 39 年年賀はがき



17.昭和 45 年個展案内はがき



18.向原町名誉町民章

◆絵画



10.むらのおとめたち(個人蔵)



11.浄心



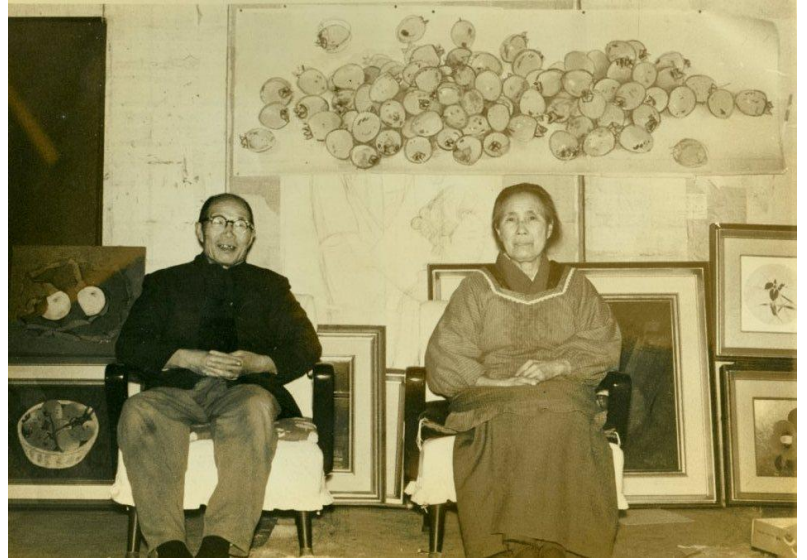
12.美人画



13.仔牛誕生



青年時代の節二(右)



節二と妻のナイ

出品目録

No.	資料名	所蔵	備考
1	紀元二千六百年奉祝日本画大展览会 ポスター	安芸高田市蔵	昭和 15(1940)年
2	紀元二千六百年奉祝日本画大展览会 図録	当館蔵	昭和 15(1940)年
3	紀元二千六百年奉祝日本画大展览会 文部大臣奨励賞 賞状	当館蔵	昭和 15(1940)年
4	紀元二千六百年奉祝日本画大展览会 文部大臣奨励賞 副賞	当館蔵	昭和 15(1940)年
5	『ベトオフエン並にミレエ』	当館蔵	大正 4(1915)年
6	日本美術学院会員票	当館蔵	大正 8(1919)年
7	スケッチブック	当館蔵	昭和 15(1940)頃
8	日記	当館蔵	昭和 16(1941)
9	画材	当館蔵	—
10	むらのおとめたち	個人蔵	昭和 11(1936)年
11	浄心	当館蔵	昭和 22(1947)年頃
12	美人画	当館蔵	制作年代不明
13	仔牛誕生	当館蔵	制作年代不明
14	昭和 36 年 丑年関連はがき	当館蔵	昭和 36(1961)年
15	昭和 39 年 年賀はがき	当館蔵	昭和 39(1964)年
16	丹頂会関連資料	当館蔵	昭和 43(1968)年
17	昭和 45 年個展案内はがき	当館蔵	昭和 45(1970)年
18	向原町旻名誉町民章	当館蔵	昭和 61(1986)年

令和 2 年度安芸高田市歴史民俗博物館小企画展
 和高節二没後 30 年記念「和高節二の作品と人生」
 令和2年(2020)10月17日(土)~12月27日(日)
 〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田 278-1
 TEL/FAX 0826-42-0070